

議会だより

せら

吉祥寺薬師堂の
天井図 巻龍



■今号の主な記事

- 令和3年度決算を認定133億1966万円
..... 2～3
- 決算審査特別委員会の主な質疑 ... 4～5
- 委員会は今 8～12
- スバル町政を問う 8議員13問...13～21
- サロンの仲間たち 22

No.71

令和4年10月14日発行

p.22に表紙紹介

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

令和3年度 決算認定

一般会計 133億1966万円の使い道&成果は？

- ・9月5日から21日までの17日間の日程で開会した。
- ・令和3年度一般会計・特別会計・企業会計の決算、令和4年度補正予算など町からの提出議案は23件、報告1件、同意2件、陳情3件、発委1件を審議した。

令和3年度 決算の概要

健幸づくり では、健康増進対策について、広島大学と連携した「健幸づくり」事業を実施。また、特定健診・特定保健指導、がん検診などの受診率向上を図るため、受診勧奨に取組んだ。また、子育て支援として、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、保育士等処遇改善臨時特例事業を行った。

ものづくり では、今後10年間の新たな計画として、第2次世羅町農業振興ビジョンを策定し、基幹産業である農業振興の施策など持続可能なまちづくりを目指すことを目的とした諸事業を推進した。商工業の振興では、事業の継続を支援する取組を行った。

人づくり では、ICTの活用を図る教職員の研修などを実施した。また、自治センターを拠点とした町民の自発的な生涯学習の推進をした。

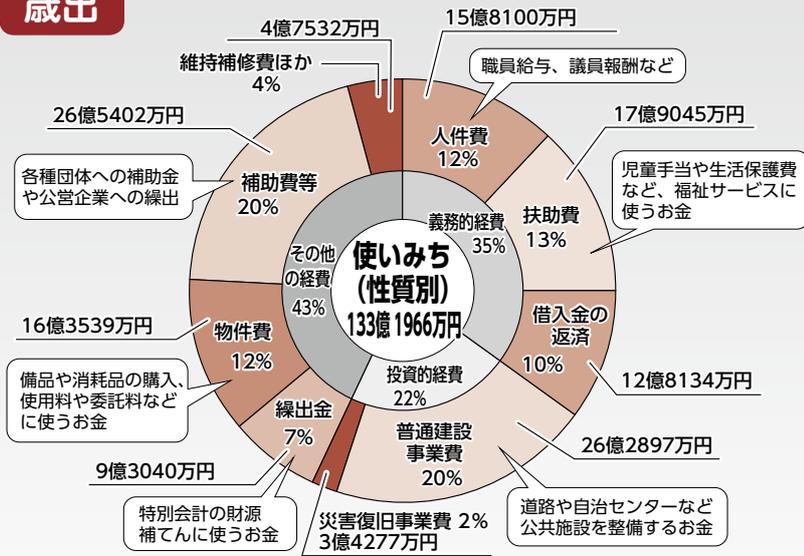
安全安心づくり では、町内全域における高速大容量の通信網を整備するため、光ファイバ化の工事を行った。また、マイナンバーカードの普及促進に努めた。

地域づくり では、地域課題の解決や地域資源の活用など、地域おこし協力隊の活動と併せ、住民参画の推進とまちづくり活動の推進に努めた。

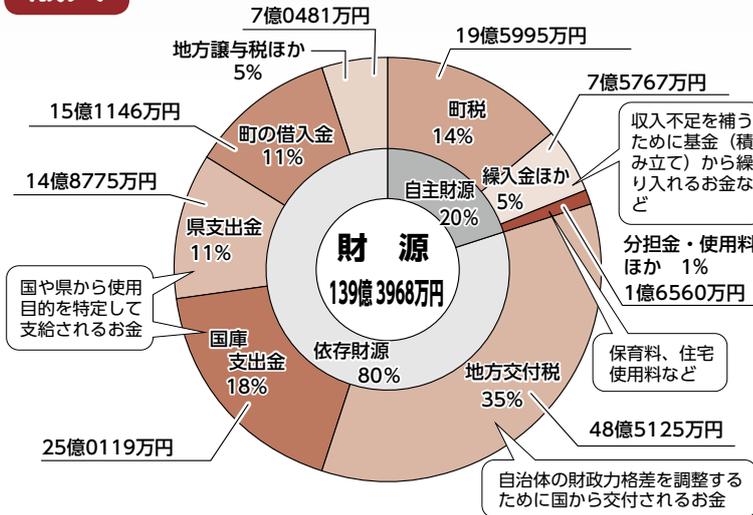
こんな事業が行われました 一般会計等決算 歳出の主な事業

基本目標	主要事業名	事業内容	事業費
健幸づくり	健康診査・指導事業	健康意識の高揚を図り、健診の受診率を高め、生活習慣病・がんの早期発見・早期治療の推進に努めた。	5655万円
	出産祝金支給事業	出生児の保護者に対して出産祝金を支給した。	300万円
ものづくり	サテライトオフィス誘致事業	光ファイバ網の整備に伴い、サテライトオフィス誘致の取組を行った。	153万円
	未来創造支援事業	農業の担い手となる人材育成や受入農家の経営力強化の支援を行った。	550万円
人づくり	食育推進事業	月に1回程度、世羅の貴重食材を使った給食提供を行った。	500万円
	大田庄歴史館改修事業	施設改修と併せて展示方法のリニューアルにより、理解と親しみやすい展示を行った。	1476万円
安全安心づくり	若年者遠距離通勤助成事業	安定就労及び町内定住を促進するため通勤費の助成をした。	84万円
	住宅リフォーム事業	住宅のリフォームに要した費用の一部を補助し、U・Iターン者を含めた定住支援を行った。	956万円
	浄化槽維持管理費補助事業	浄化槽の維持管理に要した費用の一部を補助した。	4892万円
地域づくり	地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊活用事業で、移住や起業のきっかけとした。	547万円

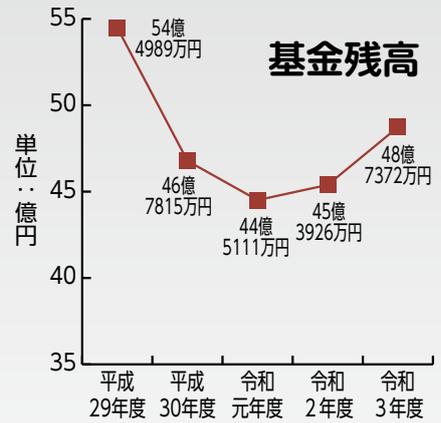
歳出



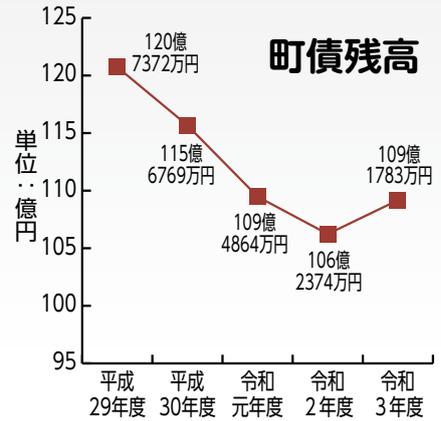
歳入



基金残高



町債残高



・財政力指数 (前年度比)	0.32 (+0.00)
・経常収支比率	86.7% (△7.3)
・実質公債費率	9.7% (△1.0)

【財政力指数】
財政上の能力を示す指数で、この指標が「1」に近いほど財政力が強い。前年度と同じとなった。

【経常収支比率】
財政の弾力性を示す指標で、低いほど政策に使える財源が多い。前年度より7.3ポイント下がっている。

【実質公債費率】
収入に対する負債返済の割合。前年度より1.0ポイント下がっている。

決算審査

決算審査特別委員会で2日間かけて審査した。厳正な審査の末、令和3年度世羅町一般会計・特別会計歳入歳出決算、公営企業会計歳入歳出決算を認定すべきものとした。

監査意見書

一般会計の実質単年度収支は黒字決算となった。引き続き、健全な財政の運営が必要です。収入未済額は減少していますが、負担の公平性のために、適正な債権管理を行い、時効とならないような方策を早急に講じていただきたい。

せら香遊ランドの、令和2年度決算審査意見で指摘した指定管理料の返還問題は、新型コロナウイルス感染症が蔓延の状況の中では、社会情勢の的確な判断や、より緊密な連携と状況把握を行い対処すべきであった。早期な解決が必要である。また、商工観光課の所管施設については、多額な維持補修費が発生する前に譲渡を含め早急な措置対応が必要である。

上水道事業会計及び公共下水道事業会計の、収益的収支において、主に起債償還の元金分や他の建設改良費の経費を一般会計から負担金として受入れを数年に亘り行っている。

審査附帯意見

- ① 歳入において収入未済額、不納欠損額が依然として見られる。納税や負担金などの公平公正を図るために、これまで以上の収納に努められたい。
- ② 令和2年度からの「せら香遊ランド(前指定管理者)」に関する指摘事項は、すみやかに対処されたい。
- ③ 決算審査の過程において指摘した事項については、十分留意し公平公正な執行に努められたい。

矢山委員

町民の暮らしを第一に、福祉、命を守る町政が求められている。農業や地場産業を守る政策が不十分で、家族農業への支援を強めるべきと考える。長引くコロナへの対応の中で、医療を守る対策、町民の暮らしを守る対策及び感染防止対策と合わせ、可能な具体化を急ぐ必要がある。今後の町民の暮らしと福祉を守る町政の転換を求めて、反対討論とする。

藤井委員

町民の幸福度や満足度に配慮した、事業執行の工夫があっても良いのではないか。前例踏襲、国からの指示、他市町の模倣では、自治体間の競争には勝てない。監査意見では目に余る執行のやり方や、取組みの努力を促す意見が述べられている。人口減少、高齢化社会も一段と迫っており、執行部の更なる奮起を求めて反対討論とする。

会計処理を厳しくチェック

決算審査特別委員会

委員長…山田隆浩
副委員長…徳光義昭

歳出

上羽場委員

道の駅の臨時駐車場賃借料は、指定管理者の利益の中から支出すべきと思うが。

商工観光課長

当初想定よりお客様が多く、利便性向上、渋滞緩和で臨時駐車場を確保している。

藤井委員

道の駅は、利便性向上のために指定管理者の公募を検討しては。

副町長

この財産の機能や効果発揮を踏まえて検討する。

企画課長

運営会社との契約で得られる利益の部分を計算したもので、金額は変動するものである。

上本委員

若年者遠距離通勤助成金は新たな事業だが、今後の展望は。

高橋委員

国営造成負担金6件の未納に対する町の考え方は。

企画課長

令和4年度からは、対象年齢の引上げ、通勤距離の短縮をしており、多くの人に制度を活用してもらいたい。

副町長

未納金額については、債権として対応していく必要がある、担当課と協議を行い経営状況に見合う形で納付計画をたてている。

向谷委員

地域おこし協力隊にどの程度国の補助金が出ているのか。

企画課長

特別交付税で、最大一人当たり400万円が全額措置されている。

一般会計

歳入

損に至るまで、納税者に対してどのような請求をしているのか。

税務課長

催告書、訪問や電話による呼びかけなど、繰返し自主納付を促す

久保委員

収入未済額が不納欠

松尾委員

民生委員と生活支援員との連携に地域差があるが、どう解消するのか。

商工観光課長

大きな反響があったのに驚いている。消費喚起にどういう事業が良いか合わせて深掘していく。

の利用促進など計画を検討している。

上本委員

サテライトオフィス誘致支援事業は、どのような結果になっているのか。

町民課長

令和3年度は794件、848部の利用があり、年々増加傾向にある。マイナンバーカードがないと利用できないので、交付促進を図りたい。

総括質疑

高橋委員

令和3年度のコロナ対策地方創生交付金、成果と反省は。

福祉課長

民生委員と地域の方も含め、十分協議しスムーズに事業が実施できるよう取組んでいる。

矢山委員

災害救助費を予備費から充用されている。この経緯は。

町民課長

関係市町で※RDFの供給及び処理委託に関する契約の関係で、令和5年度まで出資を続ける必要がある。

商工観光課長

「株式会社あわせ」と、サテライトオフィス誘致戦略を策定した。今年度以降にICT企業の誘致に向けて努力する。

松尾委員

ふれあい安心電話は、携帯電話の普及で撤去件数が増えていると聞いたが、現状と今後の課題は。

町長

当初は飲食業中心であったが、燃料高騰などを考慮して、影響を受けている事業者に対して、できる限り支援する。

久保委員

生活困窮者の自立支援は、支援金を交付しただけなのか。

総務課長

令和3年8月の長雨災害時の避難所開設に緊急対応したものである。

藤井委員

世羅高校教育環境支援事業費補助金で、中学生向けに、スマホから世羅高校の情報を発信する具体的なものは。

矢山委員

農地利用最適化推進委員はどのような業務内容で効果は。

福祉課長

ふれあい安心電話よりも携帯電話の方が使い勝手がいいという話も聞いている。年々実績値が減ってきているが、月に1回オペレーターから安否確認の連絡をしていただけるので、利用促進と周知を図りたい。

藤井委員

余裕のある残った一般財源の使い道の考え方は。

福祉課長

コロナウイルス感染症の影響で、生活に困窮する世帯に対し36万円(6万円×6か月)を支援金として支給した。

高橋委員

大田庄歴史館の一定の整備を終えた効果と、工事終了後の取組は。

産業振興課長

委員は農地パトロールを毎月行っている。農地を守る活動に一定の効果が見られている。

福祉課長

当初は飲食業中心であったが、燃料高騰などを考慮して、影響を受けている事業者に対して、できる限り支援する。

福祉課長

健全な財政運営に努め、住民の満足度、幸福度を上げるような住民サービスに取組む。

社会教育課長

展示室は説明文が多いと聞いたので、QRコードによる説明を導入した。合わせて資料の整理を行った。将来

企画課長

企画課と世羅高校及び携帯電話事業者とで色々仕掛けていこうと考えている。

企画課長

企画課と世羅高校及び携帯電話事業者とで色々仕掛けていこうと考えている。

福祉課長

健全な財政運営に努め、住民の満足度、幸福度を上げるような住民サービスに取組む。

高橋委員

ペイペイ支援策は、たばこ税だけの効果か、その他の効果は出たのか。

向谷委員

コンビニ交付システム保守業務が増額した原因と推移は。

※RDFとは……廃棄物固形燃料化

主な補正予算

- 令和4年度世羅町一般会計補正予算(第4号)
 - ・事業継続支援事業、60万円の減額修正 815万円
 - ・デマンド交通事業 甲山小国線増便補助 135万円
 - ・農家支援事業 10a当り2000円補助 4980万円
- 令和4年度世羅町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町後期高齢者医療制度特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町上水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度世羅町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

陳情の審査及び採決結果

9月定例会において、3件の陳情審査を行い、本会議で採決しました。

番号	件名	陳情者	委員会の審査意見・結果	本会議採決結果
4	上安田地区 町道の早期改良について	上安田振興区 区長 風呂迫 聖吾 道路建設委員会 会長 矢山 武	幅員狭隘と見通しの悪さなどを確認する為、要望区間の現地調査をした。賛成多数により「採択すべきもの」と決定した。	採択
5	悪臭公害解消に関する 嘆願書	下仮屋公害対策委員会 会長 山口 弘 宇津戸自治会 会長 久保 辰昭	「臭気を限りなくゼロにしてほしい。元から出さない方向にシフトしなければいけない」などの意見が出された。賛成全員により「採択すべきもの」と決定した。	採択
6	重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書提出に関する 陳情書	世羅町障害者の暮らしを考える会(世障会) 会長 盛次 信晴	「福祉医療制度は、安心して暮らせる生活の最重要なセーフティーネットである」などの意見が出され、賛成全員により「採択すべきもの」と決定した。	採択

人事

固定資産評価審査委員会委員選任同意
梶川 静司 さん 世羅町大字徳市

教育委員会委員任命同意
杉原 正典 さん 世羅町大字重永

提出議案等の採決結果

令和4年 第3回世羅町議会定例会（令和4年9月）

（報告を受けたもの）

議案番号	提出議案
報告第5号	株式会社セラアグリパーク第20期営業報告並びに株式会社セラアグリパーク第21期予算等の報告について

（同意したもの）

議案番号	提出議案
同意第2号	世羅町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	高橋	上嶋	上本	矢山	向谷	田原	藤井	松尾	徳光	久保	山田
議案第37号	工事請負契約の変更について（町道大和世羅線道路災害復旧工事（第1500号））	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第40号	世羅町保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（にしおた保育所おみ分園を廃止）	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
議案第50号	令和4年度一般会計補正予算（第4号）の修正案	可決	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	○
議案第42号	令和3年度一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○
議案第43号	令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和3年度後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和3年度公共下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	上安田地区 町道の早期改良について	採択	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●

○：賛成 ●：反対

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
議案第36号	工事請負契約の締結について（世羅町旧情報通信設備撤去工事）	可決	議案第57号	令和4年度公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第39号	世羅町税条例等の一部を改正する条例	可決	議案第38号	広島県水道広域連合企業団の設立について	可決
議案第41号	世羅町応援寄附基金条例の一部を改正する条例	可決	議案第58号	令和4年度一般会計補正予算（第5号）	可決
議案第50号	令和4年度一般会計補正予算（第4号）（修正部分を除く）	可決	議案第46号	令和3年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第51号	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第47号	令和3年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第52号	令和4年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第48号	令和3年度上水道事業会計決算認定について	認定
議案第53号	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	陳情第5号	悪臭公害解消に関する嘆願書	採択
議案第54号	令和4年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	可決	陳情第6号	重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書提出に関する陳情書	採択
議案第55号	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	発委第2号	重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書提出について	可決
議案第56号	令和4年度上水道事業会計補正予算（第1号）	可決			

※議案第51号～議案第57号：矢山議員欠席

サテライトオフィスは 光ファイバと田舎暮らしが魅力

産業建設常任委員会

令和4年7月5日・6日の2日間、徳島県神山町と美馬市を視察した。

徳島県神山町

調査事項

●サテライトオフィス

徳島県神山町は、人口5000人、スダチが日本一の過疎の町になぜ、IT企業のサテライトオフィスが集まるのか。世羅町は、今年度「お試しサテライトオフィス」を整備。この取組を支援するため、先進地の視察調査を実施した。

・地域事情
神山町は、このサ

テライトオフィス誘致事業を「NPO法人グリーンバレー」に委託し、町内全域に敷設している「高速ブロードバンド環境」を活用して、「人」に焦点を当てた魅力的な人材誘致や、集落内の古民家や遊休施設を貸出すなどの誘致支援を行っている。

・概要

NPO法人グリーンバレーの代表者は、サテライトオフィスの誘致環境は作っているが、誘致はしていない。物流の必要が無いので光ファイバ網さえ



神山町サテライトオフィス

あれば、交通の利便性は問わない。本来事業は地域を目的にしていけないが、地域がとてもない目的になり、目的の可視化ができる。神山町へICT企業が集まる理由かもしれない。

徳島県美馬市

調査事項

●うだつの町並み再生

徳島県美馬市は、人口2万7713人、市の中央を吉野川が流れ、総面積の8割が森林となっている。本調査では、「うだつの町並み」の再生を通じた観光事業に成果を挙げている取組みを視察し、世羅町の観光事業に役立つヒントを探ることとした。

・持続的なまちづくり
始めてしまえば進んでいく。誰か熱意のある人がいれば、人は寄ってくる。
・町にできることは「リードし過ぎず、ゆっくり時間をかけて、その成長を見守っていくことが大切。」と言われた。

・うだつの町並み再生協議会

重要伝統的建造物群保存地区の「うだつの町並み」再生に取組む地元住民と、移住創業の促進やサテライトオフィス誘致による「新たな人材」とが力を合わせ、うだつの町並み周辺で増加している空き家・空き店舗の有効活用を検討する中で、人口の減少に歯止めをかけると共に、滞在型観光地への転換を実現させるため、「うだつの町並み再生協議会」を設立された。

また、平成30年度には、地方創生推進交付金事業により、不動産開発やエリアマネジメントを行う運営組織「(株)MIWAチャレンジ」を設立し、古民家や空き家



うだつの町並み

を借受け若しくは買取り、「うだつの町並み」で事業をした個人・企業に貸付する仕組みを構築されている。
町並み観光には、平成8年5月から「うだつの町並みボランティアガイド連絡会」が当たり、丁寧な説明と町で出会う人々に温かさを感じた。
世羅町の観光事業への課題と似ており、課題解決への取組が待ったなしと強く感じられた。

報告します

委員会は 今

議会基本条例の評価検証

議会改革調査特別委員会

●議会報告会

5月、6月に13自治センターで開催した議会報告会・意見交換会で出された意見などを整理し、町への要望、また回答が必要なものについては担当課へ対応や考え方を確認した。その後、13自治センターに送付した。

に、公益的な提案については、委員会調査あるいは一般質問などを通じて行政に反映できるように努力していくこととした。

※まとめについては各自治センターにて御確認をお願いいたします。

(議会報告会・意見交換会の参加延べ人数は、全体で122名。)

●世羅町議会基本条例の評価

基本条例第21条「議会は、この条例の目的が達成されているかを必要に応じて検討し、適切な措置を講ずるものとする。」との規定により各議員が条文ごとに評価(A・B・C・D)をし、努力を要する「C」評価の多かった事項について、今後の取組内容を協議し内容を取りまとめ、12月定例会で確認することとした。

旧情報通信設備の撤去工事

光ファイバ網整備調査特別委員会

●旧情報通信設備撤去工事計画

光ファイバ網整備9月初旬から引き込み工事に関する電柱供架申請に着手し、9月下旬

より自営柱の撤去及び移設。

不足しているD-ONUが早ければ10月中に供給できる見込みがあり、10月上旬から引き込み及び

宅内工事に着手する。

伝送路設備の撤去工事をする一方で、宅内引き込み工事約1200件を完了する計画。

世羅町議会基本条例評価集計表(抜粋)

世羅町議会基本条例(評価がCランクの条項)		議員評価集計(人)			
		A	B	C	D
第5条	(町民参加及び町民との連携) 3 議会は、町民、町民団体等との意見交換の場を設け、議会及び議員の政策能力を高めるものとする。	3	4	5	0
第12条	(自由討議による合意形成) 3 議員は、前2項による議員相互間の自由討議を拡大するため、政策、条例、意見等の議案の提出を積極的に行うよう努めるものとする。	1	5	6	0
第17条	(議会事務局の体制整備) 議会は、議会及び議員の政策形成及び政策立案機能を高めるため、議会事務局の調査及び法務機能を積極的に強化するよう努めるものとする。	1	4	6	1

評価区分 A:十分達成された B:概ね達成された C:今後努力を要する D:評価の該当なし

特別委員会とは…特別委員会は、特定の問題を審査または調査するために必要に応じて設置される委員会です。

行政組織のデジタル化を調査 子育て支援課・健康保険課・福祉課

デジタル化推進調査特別委員会

令和4年7月27日

●タブレット端末の購入は

法人・自治体向けの納品確約が困難となり、価格上昇も伴い、9月定例会に増額補正予算の提出と入札に向けての準備をすることを確認した。

●令和4年9月13日 行政のデジタル化の状況を調査

子育て支援課

様々な申請様式全てをホームページ上に掲載していないため、紙媒体での申請となっている。

今後は、子育てワンストップサービスも含め、電子申請に向けて研究を深める。

～課題～

電子マネー決済は24時間納付が可能となっている。現在、スマホアプリを利用した保育料などの納付率は、令和3年度実績で0・38%。利用率向上のため、周知・広報する必要がある。

健康保険課

令和3年から新型コロナウイルスワクチン接種予約のオンラインサービスを開始。世羅町ラインを活用した情報発信、後期高齢者医療保険料納付におけるキャッシュレ

ス決済の導入などを行っている。

～課題～

インターネットを利用した手続きや情報発信の周知啓発を行う外、マイナンバーカード取得の啓発を行う。町内医療機関のオンライン診療などの現状を把握する。

福祉課

福祉分野における行政手続きや申請関係の手続きは、多岐にわたり、多くの申請書類が必要となるため、デジタル化は進んでいない。しかし、手続きには、高齢者や障害などで不安のある方も多く、職員が丁寧に

説明し理解を得ることも大切である。

引きこもりの方や来所が困難な方の代理申請など、電子申請は有効な手続きと考えている。

また、国の方針では、「二人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、来庁しなくても手続きが可能となるよう」全国的に申請書などを統一し、標準化・共通化が進められている。

～課題～

福祉分野では、対面での状況確認などが、町のホームページから申請できるよう検討する。

●地域のデジタル化の推進を調査

子育て支援課

令和3年4月からスマートフォンアプリを導入し、家族で子どもの成長記録の共有や見守り環境などに活用する。地域と子育て世帯との繋がりを深めていきたい。

～課題～

子育てに関する情報提供を行っているが、利用者ニーズに合わせたより一層の利便性の向上が必要であり、予防接種等のデジタル化などのサービス内容の拡充を検討する。

健康保険課

デジタル技術への対応が難しい高齢者に対して取組む。

～課題～

様々な機会を利用してスマホなどの活用を促進する。

福祉課

外出が困難な方などへの情報提供のツールとして、町のホームページを活用している。

～課題～

利用者が分かり易いように必要な情報の整理を行う。



申請書類の電子化

福祉サービス委託事業の現状を調査

現地調査

総務文教常任委員会

社会福祉法人世羅町社会福祉協議会

●町からの委託事業の現状と課題

コロナ渦の中で、感染対策に迫られる状況があった。多くの事業に取組んでいるが、認知症予防事業では対応に難しい例もあり、福祉課と協力して対応している。

にしおおた保育所

●医療的ケア児に関する受入れ体制の現状と課題

現在は、週3日。9時から11時までであるが、11月から12時までを予定している。緊急時対応としては、かかりつけ医と連携し、緊急時には

消防署への連絡で、病院搬送の体制を取っている。

事務調査

●重度心身障害者医療費助成制度の現状と課題

町の受給者数及び医療助成費の状況は、受給者（令和3年7月末）480人で、医療費のうち町負担分（2分の1）は令和3年度4972万円、1人当たり10万3594円。

課題は、国民健康保険の一部医療費分について、一定の率により減額される制度があり、この減額相当分については、翌年度に一般会計から繰入を行い補填している。

●中学校卒業後の進路状況は

町内中学校から世羅高校への進学率は、令和3年度44.5%、ここ5年間の進学率平均は48%にとどまっている。特に農業経営科は令和3年度5.9%と大きく減少した。

●小・中学校における特別教室の空調設備整備状況は

特別教室のうち、理科室、家庭科室はその使用条件により空調設置が難しい。今年度計画は、半導体不足による品薄、及びコロナ感染症に対応した空調設備が必要な関係から、夏季までの整備はできず、冬季までの整備を目指す。

●中学校部活動における地域移行の取組状況は

町教育委員会としては今年度中に、どのような関係団体と連携し、どう進めるかを近隣市町とも連携して、検討する必要がある。

●子宮頸がん（HPV）ワクチンのキャッチアップ接種の取組状況は

対象者に大学生が多いことと、一定間隔で3回接種が必要なことから、夏・冬・春休みを利用した接種が見込まれる。令和7年3月31日までが対象の接種期間であるため、年度末の声掛けや高校卒業前に学校訪問するなど、今後の周知方法を検討する。

●町立保育所の運営状況は

各保育所の児童数及び職員数は、いお

保育所は児童31人、職員18人、にしおおた保育所は児童31人、職員25人、せらし保育所では児童35人、職員21人である。

●保育士の労働実態は

保育所の児童受入時間は、午前7時30分から午後6時30分までの11時間となっている。正規職員は、1日当たり7時

間45分の勤務時間である。開所時間のうち、早朝、延長保育は正規職員1名と会計年度任用職員の時間パート勤務で対応している。

●令和4年度行政視察について

10月に、高知県榑原町にて移住対策と自治活動の取組、四万十町では移住対策について、視察を行う。



にしおおた保育所医療的ケア児受入に対応

常任委員会とは…常任委員会は、議案や請願・陳状を詳細に審査し、町の事務を専門的に調査するため、常時置かれている委員会です。

下水道事業は現整備区間を一区切り

「ちよごい計画区域」

産業建設常任委員会

現地調査

●陳情第4号上安田地区町道早期改良の陳情



上安田地区 町道改良

上安田振興区長外から提出された早期改良要望について、現地を踏査し確認した。

事務調査

●農産物の状況

広島県農業共済組合からの聞き取り資料では、田植不

能が4か所29a、風水害13か所138・9a、獣害によるものが19か所270aの説明があった。

委員から、「氷山の一角としか思えない。実態を把握する必要がある。」との意見が出された。

●ため池調査

ため池改修工事は、県が町内の防災重点ため池260か所を対象に、令和3～5年度までの計画で安全性に関する詳細診断を実施しており、この結果を踏まえて防災工事の必要性を判断する。

●公共下水道事業

・加入状況及び施設整備の進捗状況

公共下水道事業の認可計画面積は、107・7ha、整備済面積は96・8haで整備率は89・88%となっている。令和3年度は世帯数740件に公共樹設置を実施、それに対して接続は345件で設置率46%となっている。

●宇津戸下仮屋地区臭気問題

・臭気指数の状況及び改善計画の進捗状況

前回の委員会報告後の臭気指数は、6月2日では全ての観測地点で臭気指数15

を超えていた。7月7日・8月3日ではプライフーズ甲山農場第2地点以外は15を超えていた。

・改善計画の進捗状況

東部養豚組合第3・4牧場における各改善工事の進捗状況説明があった。

委員から、「令和4年度観測地の75%が基準値15を超えており、改善されていない。」などの意見が出された。

●せら夢公園に導入予定のパークPFI

県は県立3公園の魅力向上とコストの適正化・収入増への取組を進めるため、活性化策として民間活力導入の可能性と参入意欲を確認している。意見募集の取りまとめ後、年度末までには判断がされる。

●指定管理者世羅農業公園（せらワイナリー）

・コロナ後の状況及び今後の見通し

シヨップは来園者の減少から、昨年より780万円減少した。レストランは新材料長とメニューの一新などから、昨年より1000万円上回る事ができた。今後はファミリー層向けのイベントやミニSSL及び夢高原市場との連携を強化し、来園者の拡大を図ると共に、マリोटホテルの開業を取込む夜間営業の復活と利用促進に努める。

●6次産業

・現状、課題及び今後の展望

世羅高原6次産業ネットワークでは、所得の向上を図ると共に、イベントなどの交流人口を増やす取組を行っている。

課題は、会員の高齢化や担い手不足と活動が固定化し停滞気味である。

今後は、飲食や宿泊、加工業などの他業種との繋がりを深め、新たな商品開発やサービス向上による誘客の増加を図る。農家体験民宿は、大学生のインターンシップ以外は自粛している。

●せら香遊ランドの令和2年度分指定管理料の返還

令和2年11月16日に返還命令書を送付。令和4年4月18日督促状の送付。以後、町の代理人と協議を重ねている。

委員から、「双方が代理人を立てて協議しているが、法的に返還請求の裁判をすべきではないか。」など、早期の解決を求める意見があった。

※パークPFIとは…公募設置管理制度は、公園の整備を行う民間の事業者を公募し選定する制度

町政を問う

8 議員13問を^{ただ}質す

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を^{ただ}質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人30分以内で、答弁時間は含みません。

ページ	質問者	質問事項
14	高橋 公時議員	1 どうするコロナ対策・支援策はいかに
15	山田 睦浩議員	1 増え続ける空き家対策は
16	矢山 武議員	1 コロナへの対応と入院の状況は 2 おおみ分園の有効活用を 3 米への対策、農村を守る対応は
17	藤井 照憲議員	1 気候変動に伴う災害対応は 2 脱炭素のロードマップは
18	向谷 伸二議員	1 農作物への獣害対策は 2 観光事業への新たな取組は
19	上羽場 幸男議員	1 持続可能な農業を実現するには
20	田原 賢司議員	1 債権回収の管理体制の強化は
21	松尾 陽子議員	1 女性のデジタル人材育成を 2 高齢者支援の充実を



どうするコロナ対策・

支援策はいかに

答 拡大防止と地域活動の両立を図る

高橋 全国的に感染者数が過去最高を更新、我が町においても過去最高の感染者数を更新し、未だ感染拡大が日々続いている現状にある。

こうした中、国や県の対応を鑑みながら町としてのコロナ対策及び、対応・支援策について、町民

への感染者情報や注
意喚起はいかに。

町長 管轄する保健所から提供される情報をもとに、ホームページ、世羅町LINE、ケーブルテレビ文字放送、防災行政無線、町広報を活用し、感染拡大防止などの注意喚起を行

っている。しかし、詳しい感染者情報は提供されないもので、具体的な注意喚起とはならない現状である。

引き続き、感染状況や対策をしっかりと把握し、状況に応じた周知に努める。

高橋 通院による検査や検査キットの費用負担は。

町長 無症状の方が医療機関に検査を申し込まれた場合や、検査キットを購入された場合の費用は、自己負担をいただいている。

最寄りの無料PCRセンターなどを御案内している。

高橋 学校の対応（学級閉鎖・学校閉鎖・行事の有無）は。

教書 学級・学校閉鎖は、ガイドラインの改定を基に作成し

た「新型コロナウイルス感染症（疑い）発生時の対応マニュアル」を各学校と共有し、十分協議し実施している。

今後の学校行事は、中学校の体育大会、小学校の陸上記録会、学習発表会及び参観日などを予定しており、児童生徒の学びや成長を保護者や地域の方々に見ていただく良い場と捉え、基本的な感染症対策を徹底し実施を予定している。

高橋 自治・地域活動の対応（行事や祭りなど）はいかに。

町長 主催者である各自治組織が、現況を見ながら判断されている。町としては、その判断材料として、13地区の盆踊り、夏祭り、敬老会、文化祭の開催の有無や考え方を取りまとめ、随時情報提供をして

いる。

また、コロナ禍でのイベントの実施手法などの検討状況についても、情報の共有を図っている。

高橋 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用は。

町長 令和4年度の交付限度額は2億5550万円、今回の定例会で新規3事業、増額1事業の合計6507万円を計上し、総額で2億498万円、残額約5000万円。

引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済の支援などを行う。



マスクや手の消毒を

増え続ける 空き家対策は

空き家バンク制度の活用

答 空き家バンク制度の活用

山田 人口減少が続き、空き家や老朽危険空き家の増加が予想されるが、空き家を増やさない対策にどう取り組むのか。

町長 利活用が可能ならうちに、空き家バンクへ登録していただけるよう、制度の周知を図る。

また、地域のサロンや終活セミナーに出向き、空き家になる前から家のことを考えていただく機会を作るよう取り組んでいる。

山田 町内の空き家戸数及び、倒壊の危険が予想できる戸数は。



山田 睦浩 議員

町長 平成30年の総務省住宅・土地統計調査によると、空き家総数は2070戸と全戸数の約27%を占めており、倒壊の危険が予想できる空き家は190戸。

今後も危険空き家の実態把握をするため、定期的な調査を行う。

山田 通学路や生活道路に面した箇所は倒壊が予想される空き家が存在するが、大規模災害時に家屋の倒壊などによる避難動線に支障があるのではないかと。特に、徒歩や自転車通学する児童生徒の通学路の危険箇所は、把握されているのか。

教員 「通学路交通安全プログラム」への要望の際の点検、各学校独自のアンケート及び保護者・地域との連携によって、

危険箇所の把握をしている。

引き続き、町長部局とも連携を図りながら、安全安心な通学路の確保に務める。

山田 空き家バンクで交渉成立された方は、町外からの移住を目的とされた方なのか。

町長 令和3年度の契約成立件数10件のうち、8件は町外からの移住。令和4年度においては、契約成立5件と交渉中5件の計10件のうち、7件が町外からの移住者となっている。

山田 平成28年4月に「世羅町空家等対策条例」が施行されて、これまで6年間の取り組みや、今後も空き家が増加していくことが予想され、継続的な空き家対策が求められる。町民に広く周知し、

総合かつ計画的に進める方策は。

町長 平成28年に本町における空き家の件数などの状況を把握し、今後の対策の基礎データとする実態調査を行った。

さらに、令和2年にこれまでの調査結果などを踏まえ、「世羅町空家等対策計画」を作成した。



早めの空き家対策を

今後はこの計画に基づき、所有者への管理意識の啓発、空き家バンクへの登録促進、空き家の除却促進などを行うこととしている。

倒壊など著しく危険な状態となった空き家などは、「特定空家等」としての判定を進め、所有者などに助言や指導を行い必要な処置を講じる。



矢山 武 議員

コロナへの対応と

入院の状況は

答 オミクロン株対応ワクチン開始

矢山 町の対応と病院の状況はどうか。検査体制を強化すべきでは。

町長 県内PCRセンターが10か所と臨時PCRスポットが4会場あり、抗原検査キットによる自己検査を活用した「陽性者登録センター」が開設された。

町の対応は、既存の検査機関の活用や医療機関外来での抗原定性検査による拡大防止に努める。

矢山 ワクチン接種状況と医療体制は。

町長 3回目のワクチン接種は7割で、4回目は2割が接種されている。

町内の医療体制は、心配な方への医療提供がされるよう感染防止の徹底を呼び掛ける。

矢山 オミクロン株の感染力が強くと、7波が早期に終息する

とは思えず、さらなる感染防止対策の強化は。

町長 オミクロン株に対応したワクチン接種が10月中旬から開始される予定で、準備を進めている。

おおみ分園の

有効活用を

答 有効活用を検討する

矢山 大見地区の小学校がなくなり、大きく過疎が進んでいる。廃止後の活用方法をグループホームなどお年寄りの方への活用を考えてはどうか。

町長 令和3年4月より休園しており、公有財産利活用検討委員会で検討する。

矢山 活用するための費用や希望を調査すべきではないか。

町長 広く御意見をいただき検討する。

米への対策

農村を守る対応は

答 飼料や燃料の高騰に対応する支援

矢山 国は、肥料を1割低減すれば、価格上昇分の7割を補填する方向で、5戸以上で申請する必要がある。町の支援の対応はどうか。

町長 「肥料価格高騰対策事業」は化学肥料の低減に対し、本年の秋肥、来年の春肥の一部を支援する。県協議会を通じて交付されるので、町として事業の周知を図る。

矢山 今年6月までの値上がりは対象にならないが、町の対応は。

町長 飼料や燃料の高騰に対応する小規

模農家への支援を、9月補正で対応する。

矢山 イノシシ被害と米の作柄は。

町長 被害面積、被害額はつきりしないが、イノシシ被害の報告は45件である。平年作の様であるが、収穫時の長雨などで見込みは判断できない。



台風による稲の倒伏

気候変動に伴う

災害対応は

答 早めの防災情報で避難行動に繋げる

藤井 観測史上初となるような豪雨への対応は。

藤井 平成30年の線状降水帯による西日本豪雨災害の教訓は。

町長 異常気象と共に、災害による甚大な被害も多く発生している。

町長 気象庁では、本年6月から「線状降水帯予測」を6時間前に、警戒レベル相当情報を補足する情報として発表している。避難情報を発令する場合には、できる限り屋外が明る

最新の防災気象情報などにより、人命確保を最優先に適切な災害対応を取る。

い時間帯に行い、命を守るための行動に繋がるよう早めの情報提供を行うことにしている。



藤井 照憲 議員

一人の避難計画「マイ・タイムライン」の活用と周知は。

町長 自主防災組織関係者を対象にした防災セミナーや振興会、ふれあいサロンなどの参加者に、マイ・タイムライン作成支援など、普及と周知を図っている。今後も防災研修などの場で、町民の防災意識の向上を図る。

藤井 土木情報サイト「ドボックス」の町民への周知は。

町長 県が運用したシステムで、災害リスク情報を誰でも見られることから研修などで周知したい。

町長 産業、業務、家庭及び運輸の各部門における取組は、削減目標量の8割という状況であり、排出量の削減量の促進が必要であり、目標

脱炭素の

ロードマップは

答 より効果的な周知方を検討

藤井 温室効果ガス削減目標24・7%のうち達成状況は。

町長 令和元年度時点の削減目標量1万4400トンで、達成率は79・2%である。産業部門の二酸化炭素排出量が目標に達していないことから、事業者への啓発に努める。

藤井 令和12年度削減目標の達成目標と課題は。

町長 町民の理解と協力がなければ「脱温暖化」への取組の実効性を高めることは困難と認識している。

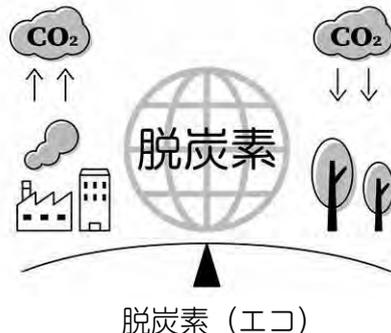
町長 町民の理解と協力がなければ「脱温暖化」への取組の実効性を高めることは困難と認識している。本年10月に「脱温暖化せらのまちづくりフォーラム」を予

達成に向けた意識啓発に努める。一方、同様に国の削減目標は46%削減することを目指すとされており、この新たな削減目標を踏まえて、令和5年度には次期「脱温暖化せらのまちづくりプラン」を策定し、計画的な推進を図る。

藤井 町民を巻き込んだ取組の考えは。

町長 ゼロエネ化や断熱改修を促進する補助制度を創出し、エコ住宅の普及促進を図ってはどうか。

町長 エコ住宅の普及促進が進むものと認識しているが、既存の補助制度と共に脱温暖化の町づくりの推進を図る。





向谷 伸二 議員

農作物への獣害対策は

答 侵入防止対策と鳥獣捕獲強化

向谷 農作物被害をくい止めるには、農地に近寄らない予防策と、害獣自体を減少させる対策が必要と思うが具体策は。

町長 侵入防止策としては、メッシュ柵や電気柵設置などの資材費補助を目的とした、野猪等被害防止総合対策事業の継

続を考えている。有害鳥獣の捕獲は、実施隊が被害確認の上、必要な場合は捕獲している。

向谷 個人捕獲者に対し、捕獲実績に応じた更なる支援の検討、また新規資格取得者に対する技術支援は。

町長 申請に応じて個人捕獲者に、イノシシ・シカ各1頭当たり、町補助事業で2000円、国補助事業で7000円を支援している。新規取得者に対しては、登録申請の際に技術提供や情報提供を行っている。

向谷 獣害対策として、バッファゾーンの区域設定の見直しと、予算の拡充が必要と考える。実績と今後の対応は。

町長 令和3年度の実績は、予算額120万円に対し、6件55万円強。森林又は農地沿いの道と隣接する森林で、奥行10m以上かつ延長100m以上の範囲で行う森林整備に、5a当たり1万5000円（限度額30万円）のバッファゾーン整備補助事業を行っており、今後も事業要望に応える事業の推進を行う。

観光事業への

新たな取組は

答 ホテル開業で新たな観光客に期待

向谷 新たに開業するホテルと、世羅の観光産業との結び付けは。また誘客・周遊観光・食事場所以ついでの考えは。

町長 道の駅の隣接地にオープン予定のホテルは、宿泊特化型ホテルで館内に飲食店舗はない。宿泊者に対する食事提供

や2次交通の対応など、観光協会を中心に観光事業者、飲食事業者などで現在協議中。隣接県のみならず、空路も対象にした広域での誘客を視野に入れた対応が必要である。

向谷 今高野山開基1200年記念イベントの進捗状況は。

町長 開基1200年イベントを実施された場合、1団体に最大20万円の補助金を実施している。新型コロナウイルス感染症によりイベントを中止された団体もあるが、現在9団体の申請を受けている。引き続き、イベント実施の相談が入っており、町の賑わいに繋がるよう支援する。



12月開業予定のマリオットホテル

持続可能な農業を

実現するには

答 スマート農業の導入を支援

上羽場 新規就農者についての施策はいかに。また、その効果と次に打つ施策は何か。

町長 国の制度として就農に向けた研修資金や経営開始の資金、機械等の導入を支援するものがある。令和4年度は2名の新規就農者が制度を

活用してブドウ栽培を開始した。

町においても新規就農に向けた研修制度である「世羅町産業創造大学」によって昨年度までに23名の方が就農いただいた。

また、高齢化や人手不足が深刻化する農業法人などの担い手確保に向けた、雇

用就農に対しては、町独自事業の「ニューファーマー支援事業」により、引き続き支援していく。

上羽場 世羅町において農業従事者は70歳の割合が一番高く、このままでは、農業法人をはじめ数年後が危惧される。町の担い手育成は進んでいるのか。

町長 町としても集落法人などにおける高齢化や担い手不足は、今後の世羅町農業にとって深刻な課題と受け止めている。「ニューファーマー支援事業」による雇用確保を進めたい。

上羽場 今の農業を取り巻く環境下では、保険料支払いが大きな負担となっている。全国の地方公共団体の内250の団体が何らかの補助制度を設けている。

保険料支援を実施する考えはないか。

町長 収入減少のリスクは依然として高いことが予想されるため、緊急対策として令和5年分の保険料に対する支援を行う。

上羽場 収益向上を目指し、様々な作物の栽培に取組まなくてはいいけない。高収益作物の選定とそのプロセスについて町のかかわり方を問う。

町長 圃場整備事業におけるソフト事業において、高収益作物への転換が求められている。

出荷先の確保や、安定的な収量が見込まれ、産地として面積の維持・拡大を、今後も推進していく品目を位置付けていく。

町長 農業法人調査を行い、具体的にど



堀越地区の基盤整備事業

上羽場 「持続的な地域農業の構築」と「スマート農業の導入・実用化の推進」を第2次世羅町農業振興ビジョンに掲げている。具体的な内容は。

のような支援が必要か検討していく。「スマート農業の導入・実用化の推進」については、本年度から始めた「スマート農業の導入補助」により、様々な技術の導入を進めたい。

町長 農業法人調査



田原 賢司 議員

債権回収の

管理体制の強化は

答 債権管理条例制定や一元管理体制を検討

田原 税外の債権は、現在の程度あるのか。

町長 国税又は地方税の例により滞納処分ができる強制徴収公債権は、466万3109円となっている。公債権のうち、滞納処分ができず支払い督促や訴えの提起などを通じて、強制

執行が必要となる非強制徴収公債権は、231万7277円。

内訳は、一般会計において生活保護費返還金 123万327円、農業集落排水事業特別会計において下水道使用料 108万6950円となっている。契約などの私法上の原因に基づいて発

生する私債権は、5005万9928円。内訳は、一般会計において国営造成負担金4821万3741円、町営住宅使用料46万6630円、上水道事業会計において水道料金95万9557円、水道加入負担金42万円で、3つの債権の計は、5704万314円となっている。

田原 債権回収の取組状況は。

町長 税外債権回収の取組状況は、担当課において段階的に督促状を送付し、訪問や電話による納付依頼、納付誓約に基づく計画的な納付指導などにより回収に努めている。次に税を滞納した場合との対応の違いは、住宅使用料では3か月以上の滞納で悪質と認定された場

合の住宅明け渡し請求。後期高齢者医療保険料では被保険者証の有効期限を通常の1年から半年へ短縮。水道料金においては、給水停止執行などがある。また、町補助金等の一部には、交付申請において町税や税外債権を完納していることを要件としている。

田原 債権回収と不良債権処理についての対応は。

町長 債権管理条例は未制定で、管理手順や回収方法、債権放棄要件なども統一化されていないが、債権回収と不良債権処理を適正に行うことで、公平・公正な債権管理に努めている。

田原 効率的な債権管理体制は。

町長 債権の一元管理体制に取組む自治体は、全国的に増加している。メリットとして、職員のノウハウ向上、窓口一本化、情報共有、生活困窮の早期発見・早期支援などが挙げられる。

公平・公正な債権管理、収入未済額の圧縮、事務の効率化・負担軽減のためには、どういった手法が最良であるか、債権管理条例制定や一元管理体制づくりも含めて検討していく。



公平・公正な債権管理

女性の

デジタル人材育成を

答 人材育成の基盤づくりを推進

松尾 女性のデジタル人材育成に対する考えは。

町長 デジタル人材育成プラットフォーム『マナビDX』や、国・地方自治体・民間企業などが一体となつてスキルアップに取り組む「日本リスクリングコンソーシアム」など、デジタル



松尾 陽子 議員

ルスキルを学ぶことができる学習コンテンツなどが数多く展開されていることを踏まえ、このコンテンツを周知し、活用していただくことで人材が育つ基盤づくりにつなげたいと考えている。

松尾 株式会社MIA（マイア）の認識は。

町長 「女性デジタル人材育成プラン」に取りまとめられた優良事例に株式会社MIAの就労支援についての活動の記載がある。

MIAでは、オンラインでデジタルスキル向上の学習環境を提供し、スキルを習得して即戦力となつた人材を企業や自治体とマッチングさせる取組を進めている。

また、愛媛県庁と連携協定を締結し、3年後の2025年までに500名の女性デジタル人材を育成するプロジェクトに企画されている。MIAの活動については、今後も注視していく。



デジタル人材にスキルアップ

松尾 町として女性のデジタル人材育成に取り組んでいく考えは。

町長 「広島県DX推進コミュニティ」で人材育成の講座・研修が開催されている。人材を確保する側である企業に対する支援メニューも一覧化されている。こうした国や県の取組の情報を収集・周知・活用し、町のデジタル人材育成につなげたい。

高齢者支援の充実を

答 成年後見制度の普及啓発に努める

松尾 認知症施策の取組は。

町長 認知症サポート研修の実施や、講演会などの開催で地域のサポート体制を作ること。認知症の方が参加できる脳ひらめき教室・家族介護教室や認知症カフェの開催で、認知症の方やその家族の地域の生活を支援している。

予防は、認知症の早期発見のために、誕生日健診で物忘れ相談プログラムという簡易な検査を実施し、認知症への不安ある方に専門医への受診、予防教室への参加を進めている。

松尾 補聴器の購入助成は。

町長 補聴器が必要な方には、認知症予防での購入助成は考えていないが、障がい者支援制度での助成を実施している。

松尾 認知症に関する今後の普及啓発は。

町長 認知症の正しい知識と理解を深めるための啓発や取組を進める。認知症に関する相談窓口の周知を図る。認知症の方の権利擁護の観点から、成年後見制度の利用支援、普及啓発に努める。

サロンの仲間たち

No. 8

みんなのホッとできる場所に

大田地区サロン カフェおおた

常設サロン「カフェおおた」は、平成28年1月に大田自治センター内にオープンしました。

このサロンの特徴は、開設当初から平日、10時から16時まで毎日開設されていることです。これは、大田地区の皆さんが、自由に立ち寄り、世代をこえて交流できるようにとの思いからです。

曜日ごとに担当の方がおられ、それぞれにサロンを運営されています。

私が取材で訪問した木曜サロンでは、介護予防に取組まれており、初めに健康チェックをして百歳体操でスタート。その後エルダーシステムのプログラムを利用した、音楽に合わせて身体を動かす脳トレに挑戦。特にごぼう先生の脳トレが人気で、皆さん楽しそうに身体を動かしておられました。身体を動かす以外にも役場や社協、警察や有識者などを招いて、生活に役立つ情報提供もされています。午後からは、ものづくりを楽しんだり、おしゃべりをし

たりしてゆっくり過ごされているそうです。

急な取材の申し込みに関わらず快く応じて頂いたセンター長をはじめ、スタッフの皆様に感謝致します。

「送迎手段を確保することが課題だが、今後参加者の要望を聞きながら、カフェのように気軽に立ち寄って過ごせる場所として提供していきたい。」と話されています。(松尾陽子)



表紙紹介

町指定重要文化財である鳳林山吉祥寺薬師堂は、上津田稻荷神社の別当寺だった宝冠山能仁寺の伽藍の一つであった。元禄元年（一六八八）四代目松本弥三右門義知によって再建されたものを、元禄十二年（一六九九）吉祥寺の現在地に移転された。



天井の龍雲図は、中央に龍の顔を配置し右の前足で玉を掴む三爪の龍が、天井を反時計回りに胴を唸らせながら一周している。龍が雨を降らすと言われることから、火災から守ってもらうために描かれたという説もある。

編集後記

コロナ感染症の第7波が猛威を振るい、世羅町でもクラスターが発生するなど、多くの感染者が出ています。ウイルスも変異を続け、未だ終息の気配はありません。1日も早く以前の生活に戻るよう祈るばかりです。早いもので、任期も半分（2年）が経過し、折り返しを迎えようとしています。

9月定例会では、8人が一般質問に立ち、決算を含む多くの議案が審議され、様々な質問・意見・提案をされました。

議会だよりの編集は、これらのことを再確認し、見つけ直す学びの場となっています。

今後も、議会だよりの通じて、議会の取組みを少しでもご理解いただけるよう、より分かりやすい、より親しみやすい誌面づくりに取組んでまいります。(松尾陽子)

議会広報広聴調査特別委員会

委員長／藤井 照憲 副委員長／松尾 陽子
委員／上本 剛・向谷 伸二・田原 賢司・山田 睦浩



世羅町議会 ホームページ

左の2次元コードを読み取ってアクセスしてください